

老朽化が進む浄化センター設備の改築等を集中的に実施し、予防保全型インフラメンテナンスを着実に推進

## (1) [対策名]83 下水道施設の老朽化対策

- ◆事業名 防災・安全交付金事業  
(流域下水道事業)  
とよがわ
- ◆処理場 豊川浄化センター  
(豊橋市新西浜町)

## (2) 事業概要

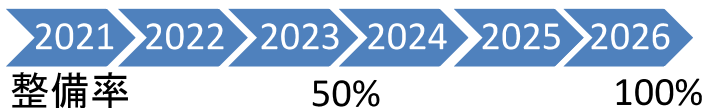
- ◆目的: 健全度が低下した  
浄化センター設備等の改築
- ◆総事業費: 約17億円  
(5か年加速化対策事業費: 1.7億円)
- ◆事業期間: 2020年～2024年
- ◆整備内容: 水処理施設電気設備更新工事  
管渠改築工事 等

## (3) 事業スケジュール及び効果

### ◆5か年加速化 対策活用



### ◆当初見込み



## ◎ 豊川浄化センターの特徴

- 1980年に供用開始しており、設備の老朽化が進んでいる。
- 下水汚泥のエネルギー利用を行うPFI事業を2014年から実施している。



## 水処理施設電気設備更新工事



壊れると汚水処理に必要な設備の運転ができなくなり、水質管理が悪化する。

## 管渠改築工事



これ以上劣化が進行すると陥没や下水への土砂流入の危険性がある管の更新

## [効果]

➤老朽化に起因する下水処理の停止リスクの解消。

(改築が必要な、健全度が低下した設備数ゼロ)